

令和8年2月25日

# 南の風 563

南部地区ミニバスケットボール連盟

会長 藤原 敬一

間が空いてしまいました すみません 「人生を豊かに導く力」の続きです

- ・ミスから学ぶ：感情をコントロールする力 回復力
- ・チームと協力する：共感力 対話力
- ・困難に立ち向かう：やりぬく力 自己効力感 社会性

▼

これらはバスケを通じて培うことができます  
子供たちの将来を豊かにする土台

▼

## 保護者の関わり方が重要

### バスケットボールの「主役」は誰ですか？

いうまでもありませんね 選手が当事者ですから 保護者はどう関わったたらいいでしょうか？

#### 《保護者の不適切な関わり方》

##### ★勝つことが最優先

勝つことを目指すことは大切です それは「主役」である選手（子ども）が自ら「勝つために頑張ろう！」と努力することです 保護者が「何が何でも勝たせたい」と前面に出ることではありません

##### ★コーチングの参加

練習や試合中に プレーやスキルに関して口を出したり 指示したりすることは NG です コーチングは指導スタッフの仕事です 越権行為は厳に慎むべきです

##### ★チームメイトや 審判への暴言

自分の子ども以外のチームメイトにプレーを強要したり 指示したりすることや 審判へのアピールや判定に対する声出し（暴言はもってのほか）は絶対に禁止です

##### ★試合後すぐに技術的ダメ出し

試合後すぐにプレーやスキルに対して 指導したり 自分（保護者）の思いを一方向的に話したりすることはやめましょう

##### ★他の選手と比較すること

「何でAさんみたいに動けないの」「Bさんみたいなシュートを打ちなさいよ」といった 選手のモチベーションが下がるような 他の選手との比較は自制しましょう

##### ★子どもへの過度な期待 親の夢の押しつけ

何度も言いますが 「主役」は子どもです 親の「こういう選手になってほしい」「こういうプレーをやってほしい」という願望が強すぎるのは 子どもにとっては負担でありマイナスです

子どもの成長をゆとりをもって 見守り支援する保護者であってほしいと思います 次号にします